

令和6年度 第6回全体庁議（10月31日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(17) 川西小学校・川西中学校に関する今後の在り方の検討 について[学校教育部]
----	-------	--------------	--

■ 提案・報告の趣旨

川西小学校・川西中学校に関する今後の在り方について整理を行ったことから、令和6年11月19日の経済文教委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

1 現状と課題

川西小学校及び川西中学校は、清流地区の宅地造成などに伴い児童生徒数が増加しているが、1教室当たりの面積が狭いことや教室数不足など、校舎の狭隘化が進行している。

また、建築後40年以上経過しており、帯広市学校施設長寿命化計画においても優先度の高い第Ⅰグループに属していることから、令和5年度に長寿命化改修や増築の可能性について躯体・設備等の状況調査を行った。

2 これまでの意見・要望等を受けた整理

地域説明会での意見や地域要望書の内容を踏まえ、義務教育学校の導入や整備手法について検討を行った。

(1) 義務教育学校の導入の可能性について

川西地区では、9年間を見通した学力向上の取り組みが行われていることや通学区域が一致していることなど、一定程度の小中一貫教育の取り組みが図られているが、義務教育学校等の導入にはそれらの取り組みについて検証が必要となる。また、義務教育学校の設立に向けては、校舎の長寿命化改修等と同時に、教育課程の編成など、開校に向けた準備が必要となることから、地域とも協議を行っていく必要があるほか、移転新築による整備を行う場合には、用地取得の課題がある。

(2) 義務教育学校の導入に伴う整備手法の試算について

地域説明会の候えや要望等を踏まえ、義務教育学校設置についての試算を行った。

(3) 今後の考え方について

今後の川西地区の学校の在り方や施設整備手法について、保護者や地域住民と協議を行いながら検討を進めていく。

3 「(仮称)川西地区学校の在り方検討協議会」の設置

学校は、教育活動を通じた地域の活性化を図るコミュニティの核となることから、児童・生徒にとっての良好な教育環境や学校と地域の関わり方など、川西地区における将来の学校の在り方について検討するため、保護者、地域住民、学校関係者等で構成する「(仮称)川西地区学校の在り方検討協議会」を設置し、協議を行っていく。

■ 今後のスケジュール

- 令和6年11月19日 経済文教委員会へ報告
- 令和6年11月下旬 (仮称)川西地区学校の在り方検討協議会の設置
- 令和6年11月～令和7年3月 検討協議会の開催（3回程度）、意見書の提出

■ 審議結果

- 同内容で、11月19日経済文教委員会へ報告することです承された。

■ その他、指摘事項等

- 特になし。